

佐倉市公共施設再配置方針

について

1.佐倉市の現状と財政状況

全国で起きている3つの課題

①人口減少・少子高齢化

→今後〇年間で。。。

②社会保障費増加

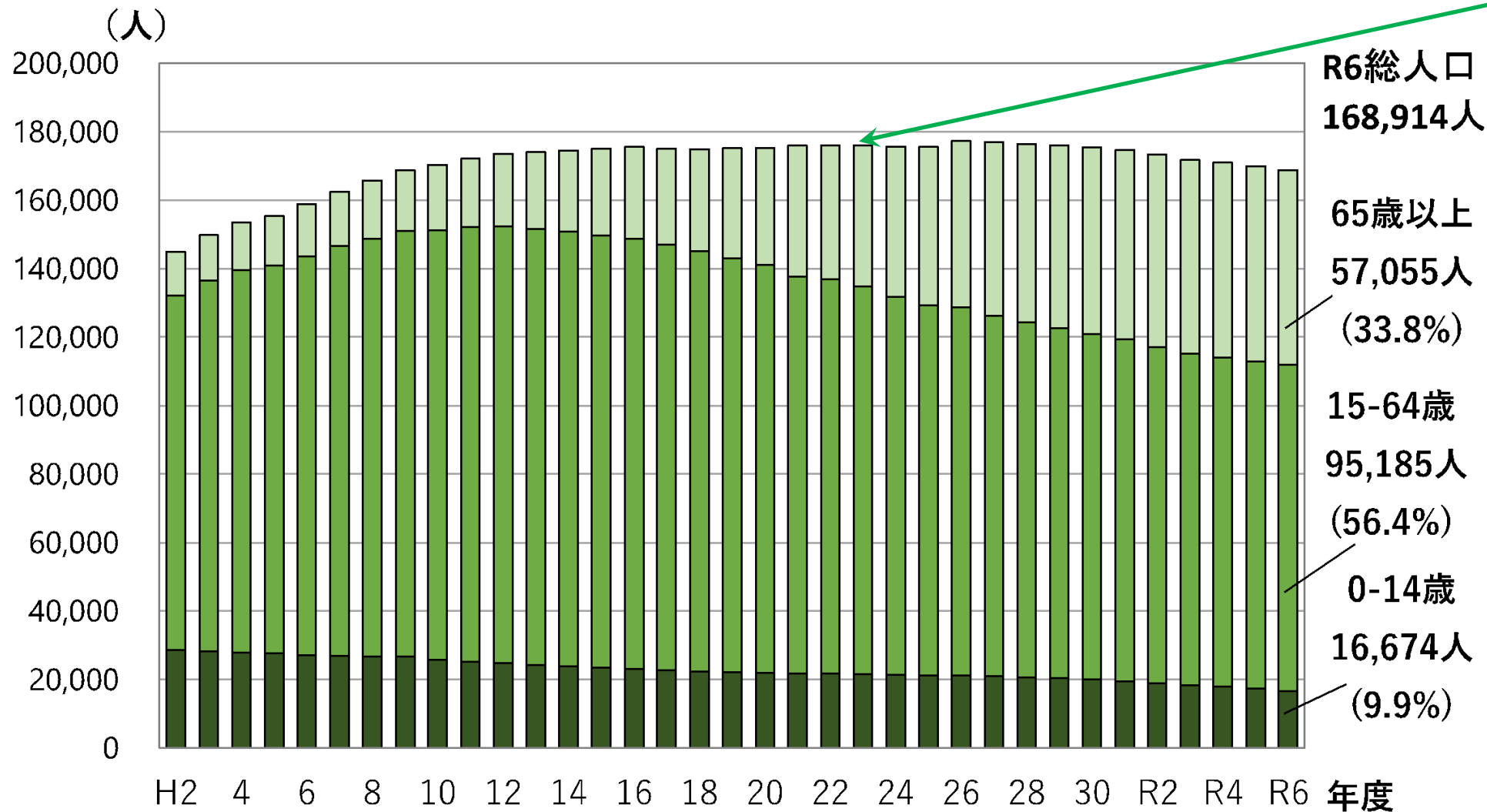
→働く世代の人が。。。

③公共施設の老朽化

→建てた時期が。。。

佐倉市でも同じことが
起きている！

課題①人口減少・少子高齢化



R6総人口
168,914人

65歳以上
57,055人
(33.8%)

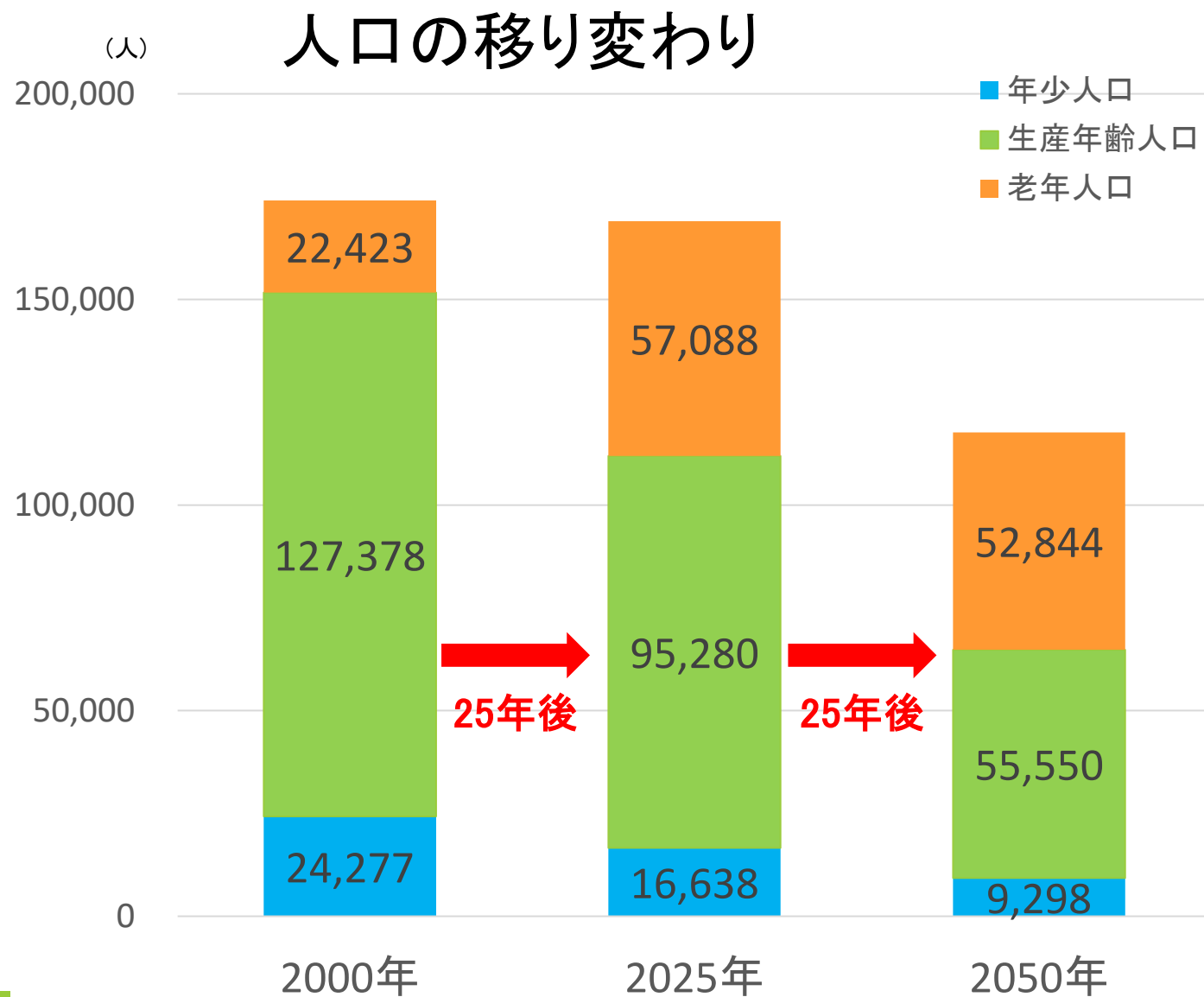
15-64歳
95,185人
(56.4%)

0-14歳
16,674人
(9.9%)

平成23年度を
ピークに微減

出典:佐倉市公共施設等総合管理計画

課題①人口減少・少子高齢化



2025→2050年の約25年で

↓ 人口は30%減る

➤ 高齢者7%減る

↓ 大人は41%減る

↓ 子供は44%減る

少子高齢化になると...

課題②社会保障費増加の問題

扶助費 福祉に使われるお金

20年間で4.6倍
歳出全体の29.9%

普通建設事業費

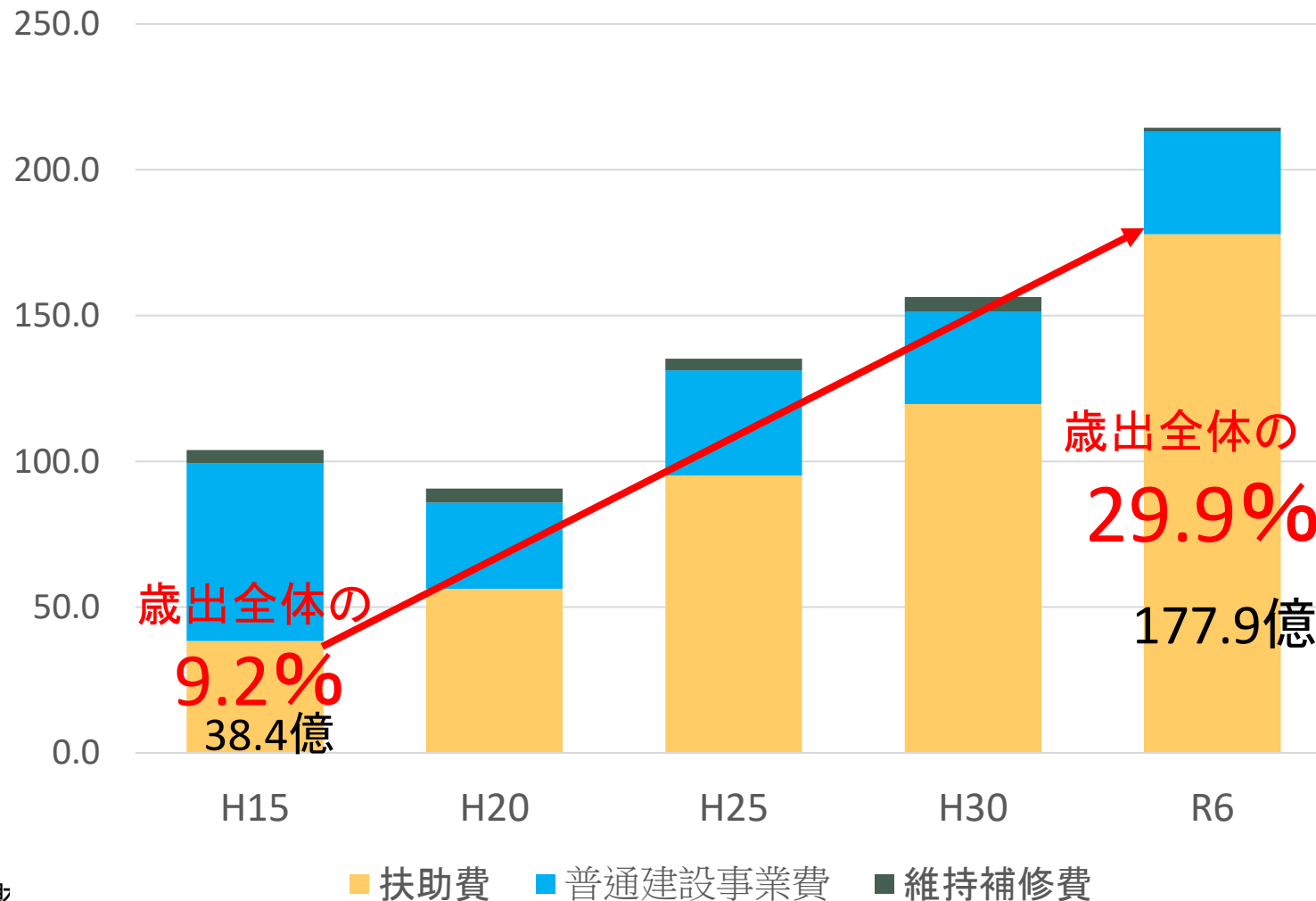
公共土木施設・公共施設に使われるお金

20年間で40%以上減

維持補修費

土木施設・公共施設の維持保全に使われるお金

20年間で70%減



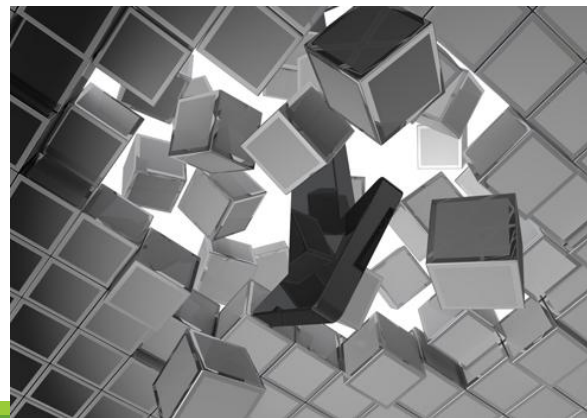
出典：地方財

課題③ 公共施設の老朽化

建物の外壁落下



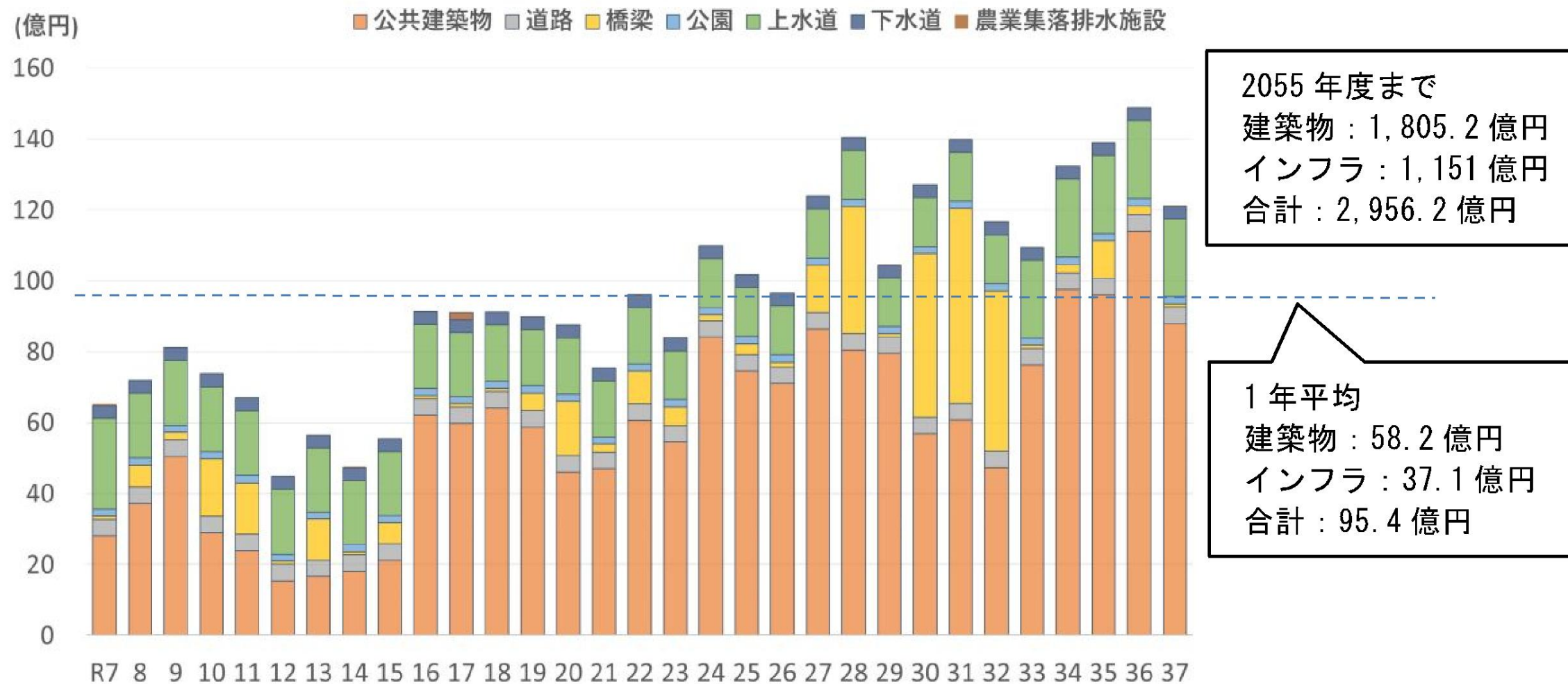
トンネルの天井崩落



橋梁の落下

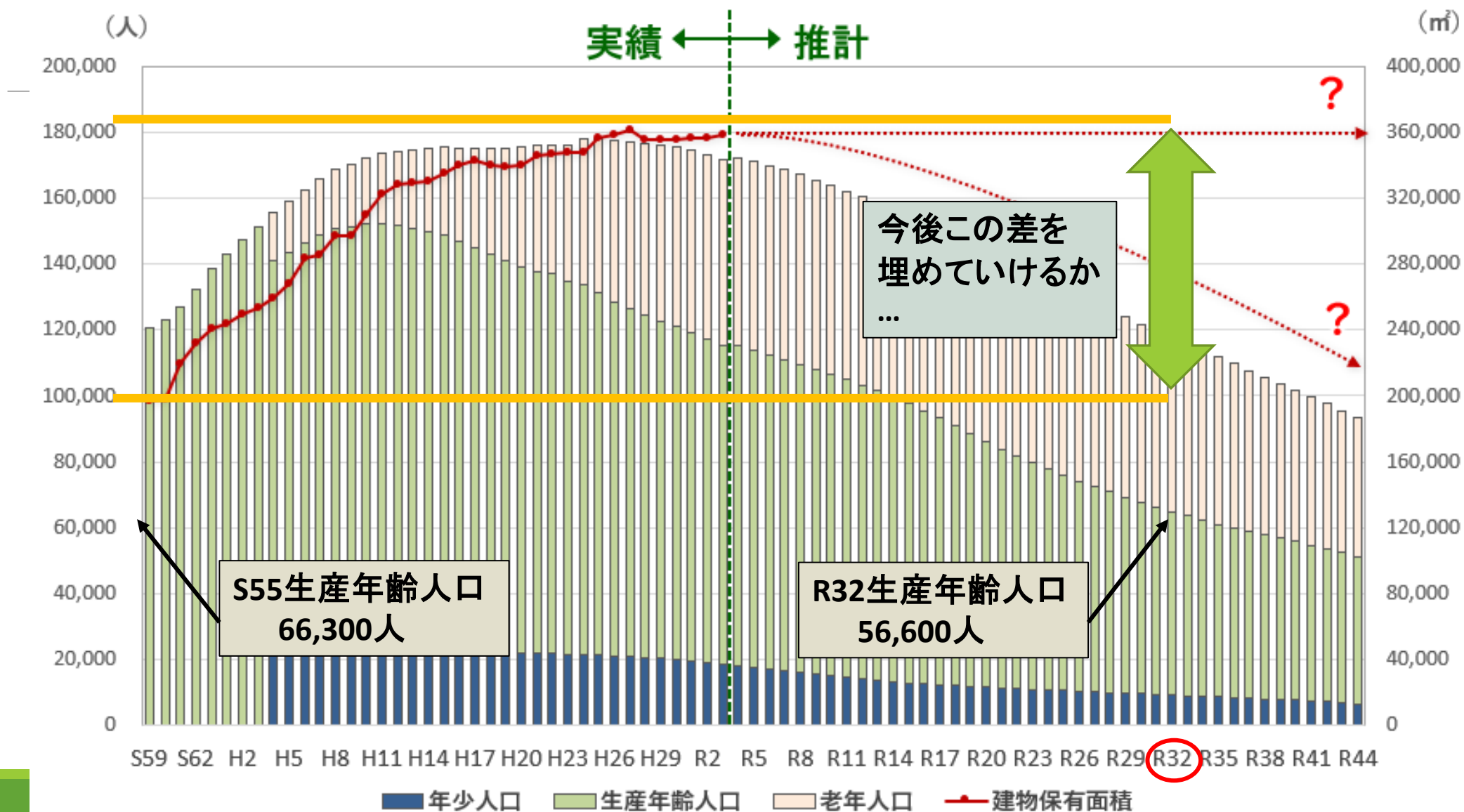


課題③ 公共施設の老朽化

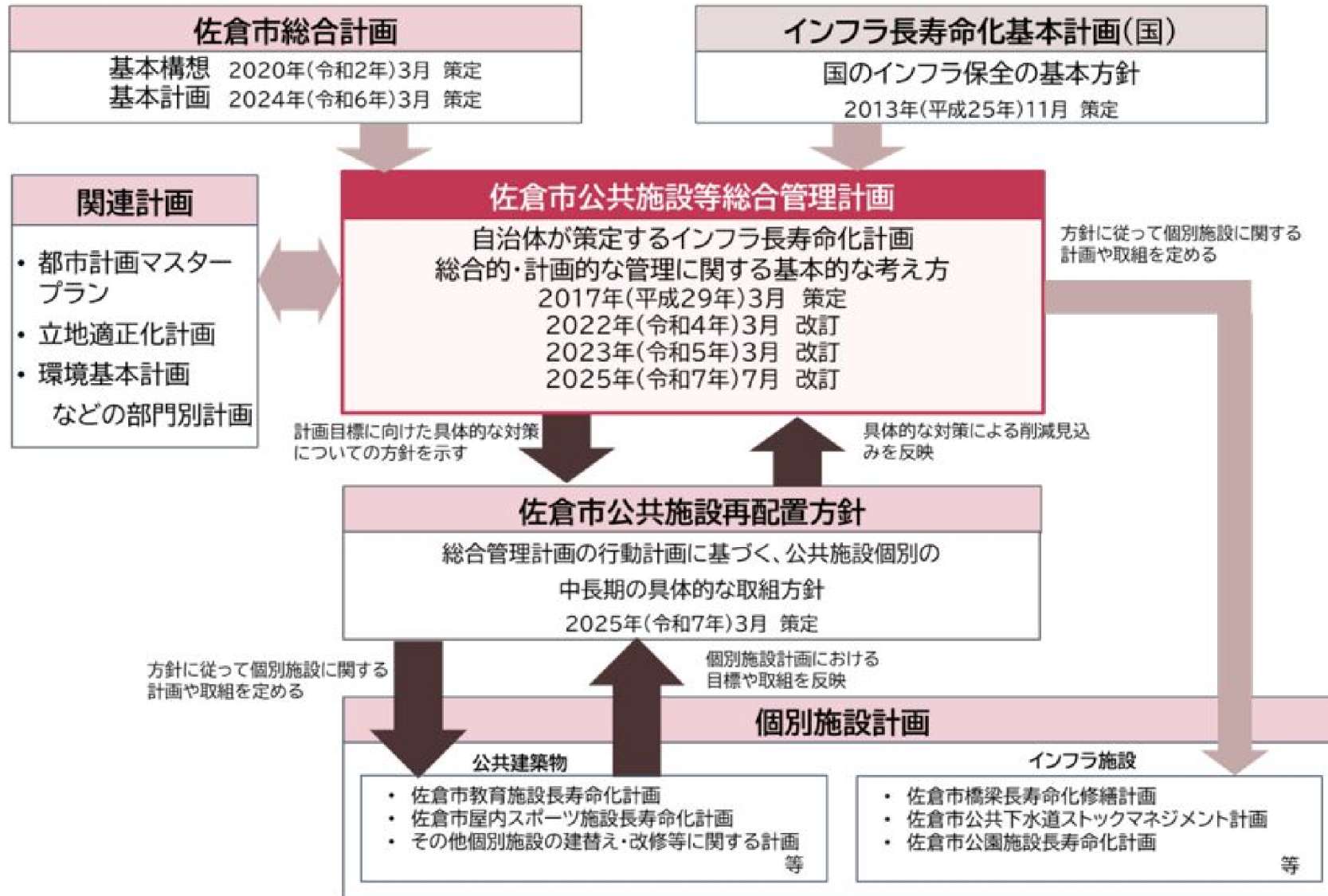


出典：佐倉市公共施設等総合管理計画

人口と建物保有面積の推移



2. 公共施設再配置方針の位置づけ

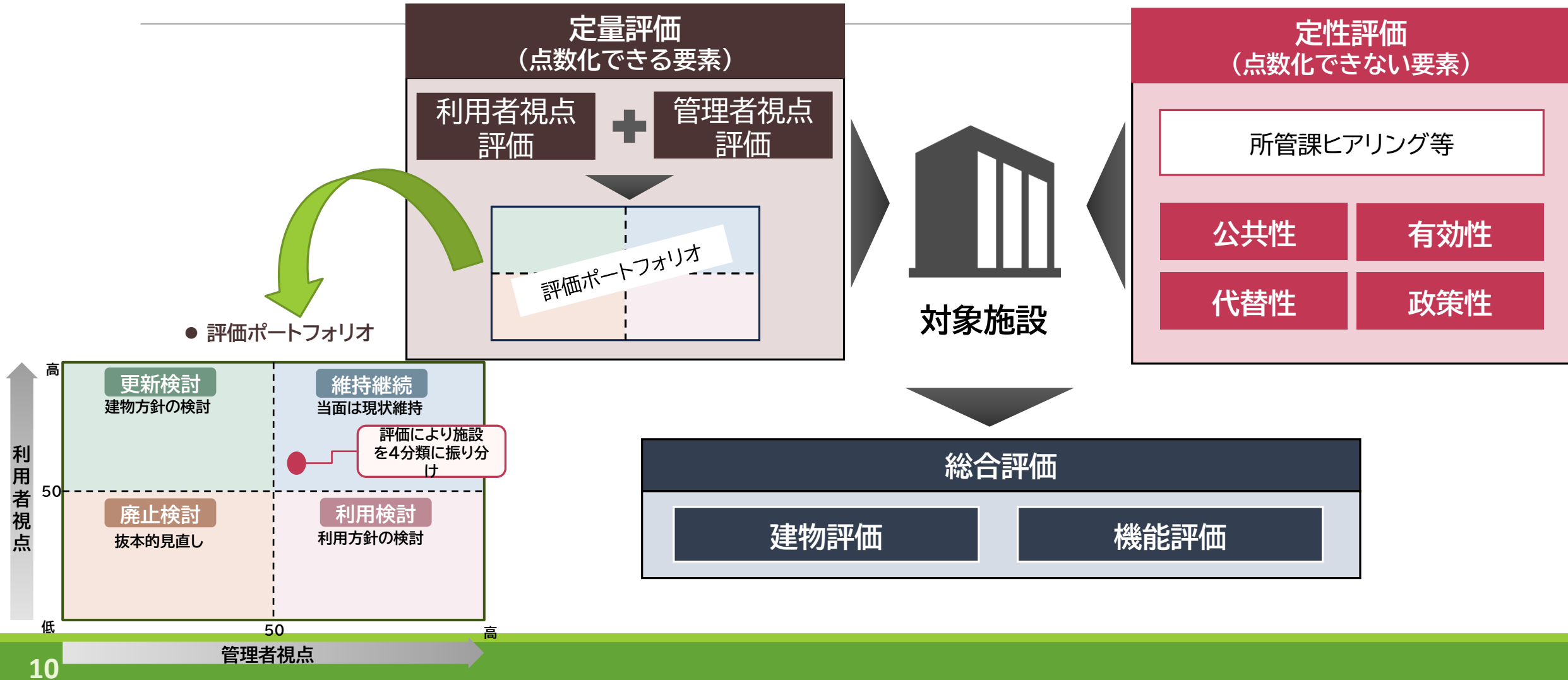


3.再配置方針の構成～①対象施設の選定

大分類	中分類	施設数	面積(㎡)
市民文化系施設	集会施設	21	21,367
	文化施設	1	3,654
社会教育系施設	図書館	5	9,336
	博物館等	2	5,313
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	7	13,671
	レクリエーション施設	7	6,558
学校教育系施設	学校	34	220,583
	その他教育施設	3	592
子育て支援施設	幼保・こども園	7	8,408
	幼児・児童施設	38	7,399
保健福祉・医療施設	高齢福祉施設	9	1,863
	障害福祉施設	3	2,199
	保健施設	4	5,180
	その他福祉施設	2	2,755
	医療施設	2	148
行政系施設	庁舎等	11	16,988
	その他行政系施設	4	594
その他施設	その他	10	8,316
合計		170	334,924

3.再配置方針の構成～②施設評価

●施設評価のイメージ



3.再配置方針の構成～③方針の具体的な内容

表 3.2 社会教育系施設の方針スケジュール

施設名【複合施設】	前期 (2025～2027)	中期 (2028～2031)	後期 (2032～2035)	後期以降 (2036～)
臼井公民館図書室 【臼井公民館・市民音楽ホール】 (1984 年築)	民間活力の導入を検討		長寿命化改修 (予定)	
志津図書館 【西志津ふれあいセンター】 (1994 年築)	大規模改修 民間活力の導入を検討			
佐倉南図書館 (1999 年築)	民間活力の導入を検討	大規模改修 (予定)		
志津図書館志津分館				

3.再配置方針の構成～④中長期のコスト見通しと効果

項目分類	項目	2055年までの 総額(億円)	再配置方針による縮 減費(億円)	縮減割合
更新・ 改修費	更新費(改築費)	728.2	704.1	3.3%
	長寿命化改修費	596.0	563.4	5.5%
	大規模改修費	173.2	161.8	6.6%
	解体費	0.0	8.8	—
ランニング コスト	光熱水費	204.7	197.0	3.8%
	人件費	975.0	868.0	11.0%
	委託料	351.5	317.9	9.6%
	賃借料	14.8	12.3	16.9%
	その他費用	686.6	677.1	1.4%
合計		3,730億円	3,510億円	5.9%

対象施設を総合管理計画の計画期間である2055年度まで維持し続けた場合の**施設維持コスト**と本方針を実現した場合の縮減費用試算

現状のままでは約**3,730億円**かかる見通しです。

本方針で示した再配置方針を実現した場合のコストとの差は、**約220億円**となり、**5.9%**の縮減効果が見込まれます。

ご清聴ありがとうございました